

鴻巣御殿の主な建物紹介

御殿模型の製作にあたって最も参考とした「江戸図屏風」を見ながら、主な建物を紹介します。建物の数や名称は、後年の記録である「鴻巣御殿目録」を参考としました。

目録には37棟の建物があったと記録されています。江戸図屏風にはそれほどたくさんの建物は描かれていません。屏風に描かれているのは表向きの建物だけで、屏風の右側の部分に将軍が滞在する居間や寝所のほか、馬屋や料理のための部屋など、奥向きの建物があったと推定しています。



江戸図屏風と同じ方向から見たものです。

- ① 鷹部屋（たかべや）
鷹狩りのときに使う鷹を飼育する小屋
- ② 御広間（おんひろま）
家臣の控え室や儀式的の場など、多目的に使う部屋
- ③ 御夜詰の間（およつめのま）
将軍の警備を行う侍たちの控えの間
- ④ 御道具部屋（おどうぐべや）
鷹狩りのときの道具などを収納する部屋



御主殿（ごしゅでん）
将軍が大名と対面する部屋です。



御広間（おんひろま）



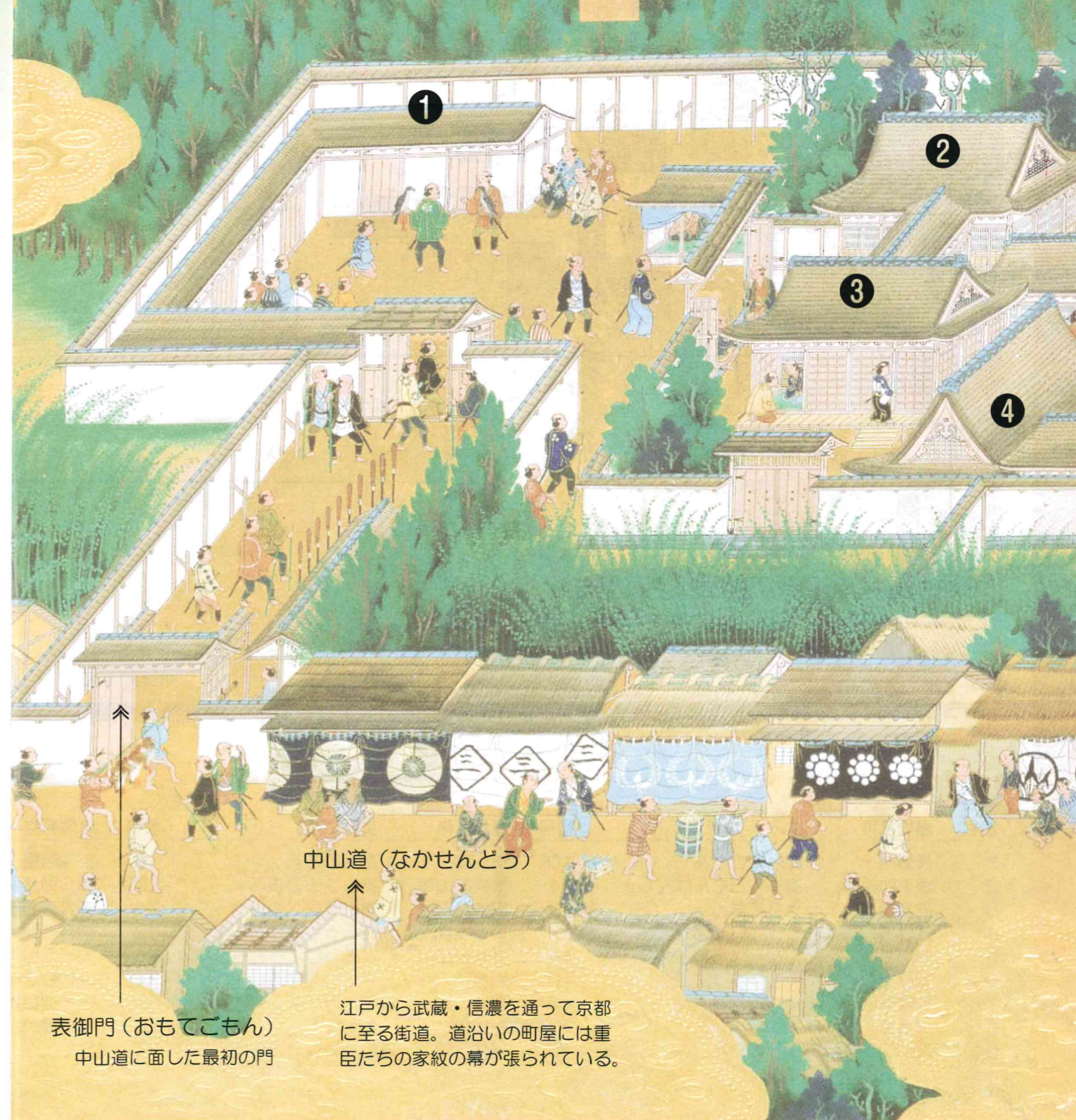
御休息の間（ごきゅうそくのま）
将軍の寝室です。左奥に見えるのは将軍専用の風呂場です。



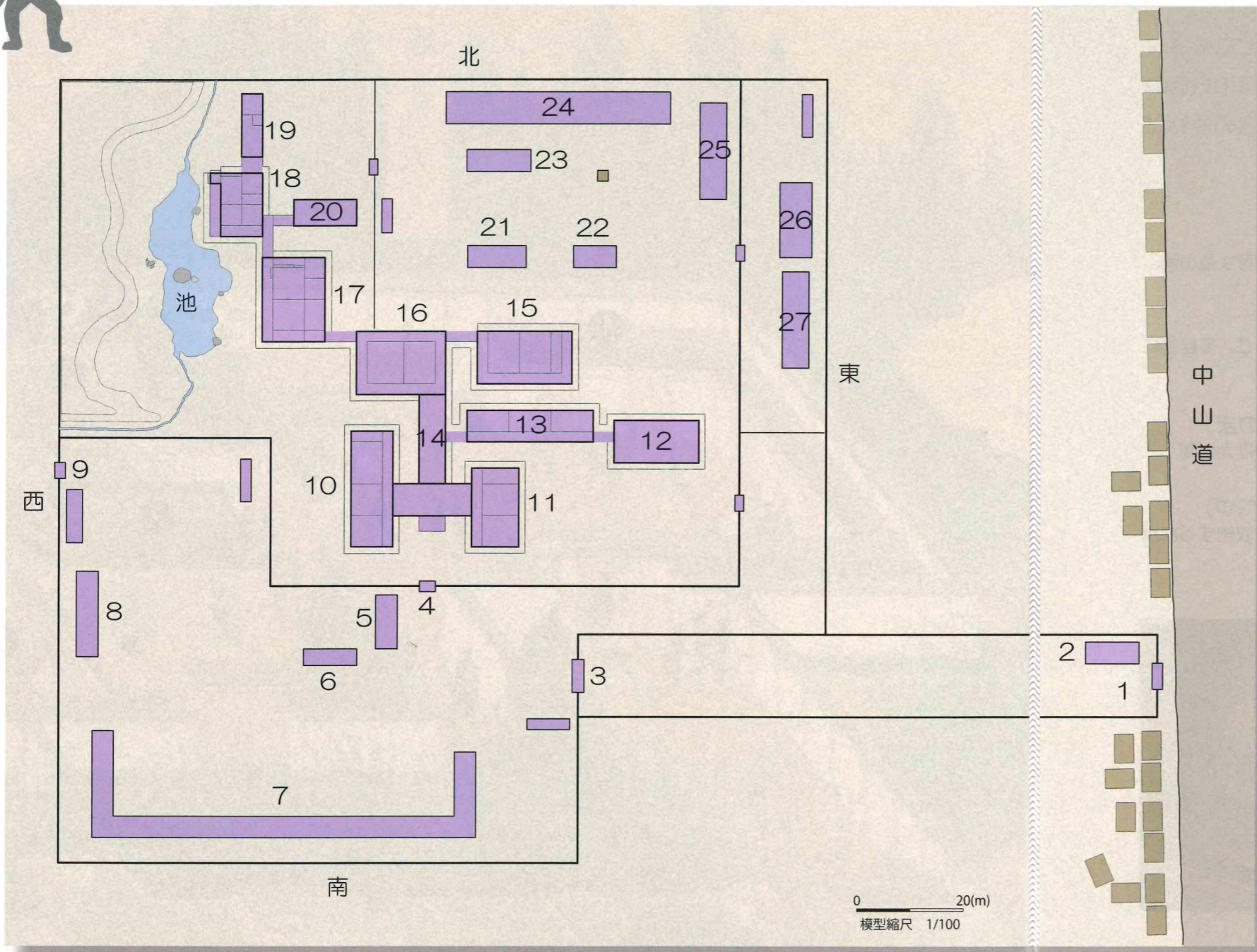
御馬屋（おうまや）
馬をつないでおく建物です。将軍用とそれ以外とで2棟を想定しています。

鴻巣御殿

鴻巣御殿



このすごてんもけい
鴻巣御殿模型



鴻巣御殿模型 配置図

番号	建物名称	よみ	番号	建物名称	よみ	番号	建物名称	よみ
1	表御門	おもてごもん	10	御広間	おんひろま	19	御風呂屋	おふろや
2	表御門番所	おもてごもんばんしょ	11	御夜詰の間	およつめのま	20	御奥御台所	おんおくおだいどころ
3	内御門	うちごもん	12	御道具部屋	おとうぐべや	21	御料理の間	おりょうりのま
4	式台前御門	しきだいまえごもん	13	御老中御部屋	ごろうじゅうおへや	22	御肴部屋	おさかなべや
5	御門番所	ごもんばんしょ	14	御老中御廊下	ごろうじゅうおろうか	23	御風呂屋	おふろや
6	御腰掛	おこしかけ	15	御台所	おだいどころ	24	下御台所	しもおだいどころ
7	御鷹部屋	おたかべや	16	御次の間	おつぎのま	25	御馬屋台所	おうまやだいどころ
8	御長屋	おながや	17	御主殿	ごしゅでん	26	御馬屋	おうまや
9	裏御門	うらごもん	18	御休足間	ごきゅうそくのま	27	御馬屋	おうまや

鴻巣御殿 - 模型による鷹狩り御殿の再現

「御殿」とは、将軍が旅行のときに使用する専用の宿泊施設のことです。鴻巣御殿は将軍の鷹狩りのときに使用する施設として徳川家康の時代に建てられました。二代将軍秀忠、三代将軍家光も、毎年のように鴻巣を訪れていたという記録が残っています。

この模型は、徳川家光の時代の「鴻巣御殿」が描かれている「江戸図屏風」という絵画のほか、御殿が廃止された頃に作成され、建物の規模や特徴を記録した「鴻巣御殿目録」などをもとに、建物の大きさや配置を検討し、100分の1の大きさで再現したものです。

御殿の範囲と位置を決めるにあたって、鴻巣御殿があったとされる東照宮付近の発掘調査や道路からでは、場所の特定が難しいことがわかりました。そのため、今回の模型では、東照宮付近を御殿の中心と想定し、中山道までの長い道の一部省略し、江戸図屏風に近い形で建物や敷地を想定しています。

